

比較家族史学会

# 会比较家族史 28

事務局 〒101 東京都千代田区神田駿河台1-7 弘文堂気付  
郵便振替 [会費] 00130 - 4 - 5222, [雑誌・その他] 00180 - 3 - 604964

## 比较家族史学会 第三一回研究大会

日時 一九九七年六月七日(土)・八日(日)

場所 帝京大学 一ノ号館三階

住所 東京都八王子市大塚 三五九(地図参照)

テーマ 扶養と相続・継承

■一日目(七日) 午前十一時から(十時三〇受付開始)

◆会長挨拶 井ヶ田良治

特別報告

◆私の家族法社会学研究史

―社会の中の家族―

渡邊 洋三(東大名誉教授) 11:10 ~ 12:10

(昼食)

テーマ報告

・趣旨説明

奥山 恭子(帝京大学) 1:10 ~ 1:20

・戦後日本の老人扶養の変容

―法社会学の立場から―

湯沢 壘彦(郡山女子大学) 1:20 ~ 2:00

・日本民法における扶養と相続

―フランスの場合と比較してみた

戦後改正の今日的意義―

原田 純孝(東京大学) 2:00 ~ 2:40

(休憩)

□ミニ・シンポ

・江戸時代庶民の「養育」

2:50 ~ 3:40

菅野 則子(帝京大学)

3:40 ~ 4:20

・日本中世の村と扶養・相続

久留島 典子(東京大学)

4:20 ~ 5:00

□懇親会

5:30 ~

■二日目(八日) (十時受付開始)

・扶養と相続

―イギリス経済史の事例から―

高橋 基泰(愛媛大学) 10:30 ~ 11:10

・韓国の扶養と継承

―理念型・歴史の変遷・ヴァリエーション―

嶋 陸奥彦(東北大学) 11:10 ~ 11:50

・民族複合と同居・扶養

―ベトナム南部ソクチャン省の事例より―

中西 裕二(福岡大学) 11:50 ~ 12:30

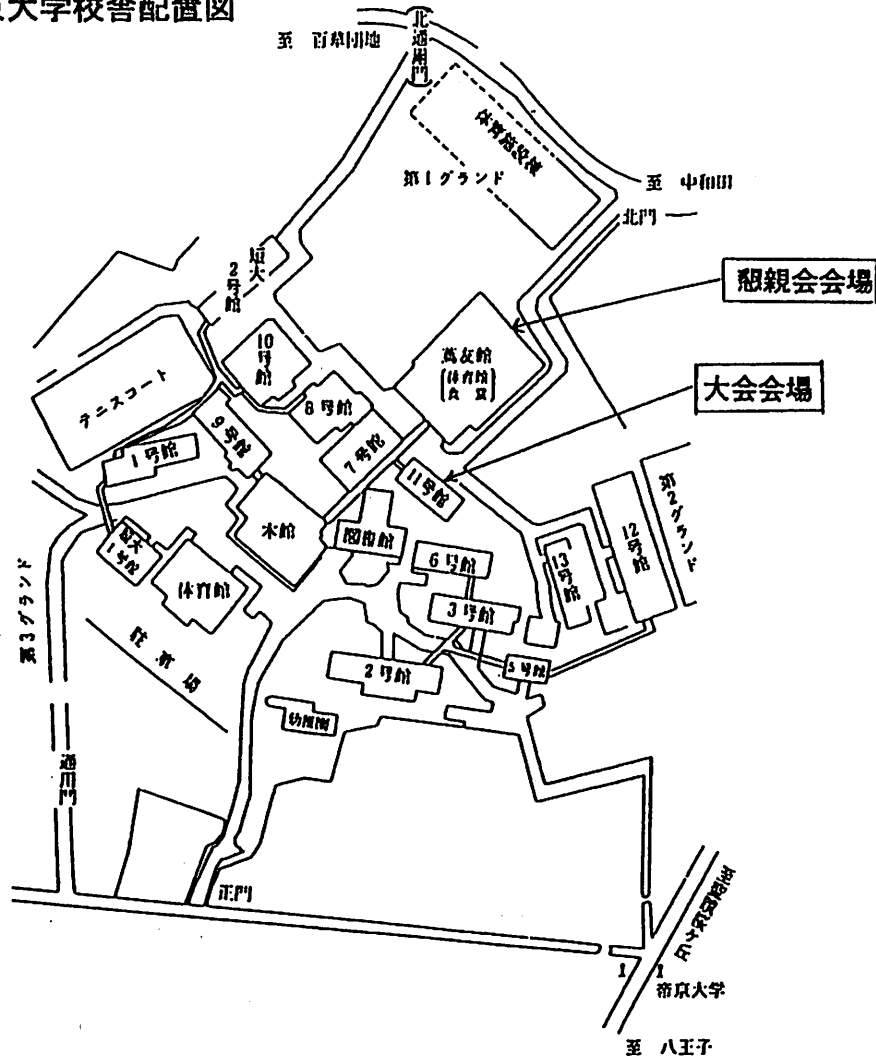
□総会(1:30 ~ 2:00)

□シンポジウム(2:00 ~ 5:00)

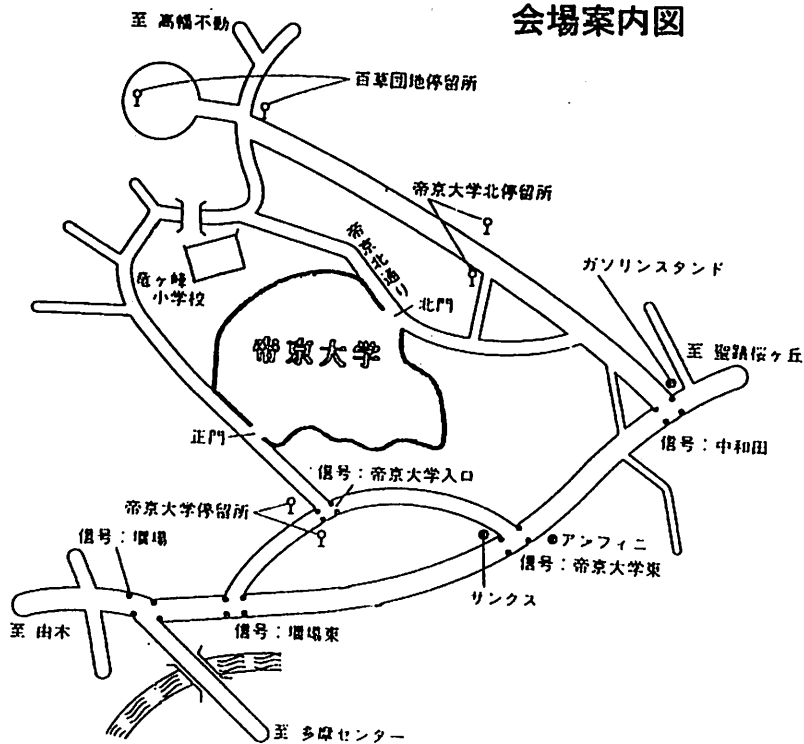
運営委員

天野武(委員長)・田中貞砂子・奥山恭子

### 帝京大学校舎配置図



### 会場案内図



M. Takahashi, "The Number of Wills Proved in the Sixteenth and Seventeenth Centuries: Graphs, with Tables and Commentary", in P. Spufford and G. Martin, eds., The Records of the Nation (Woodbridge, 1990), pp.198-200.

嶋陸奥彦「大丘戸籍にみる朝鮮後期の家族構造の変化」『朝鮮学報』一四四、一九九二 以上

### 運営委員会からのお知らせ

- 1 研究会・懇親会の出欠については、同封の葉書にて五月一日(木)までにお知らせ下さいますようお願いいたします。なお、大会参加費は一〇〇〇円、懇親会費は五〇〇〇円です。参加費等は当日受付にてお支払い下さい。会員以外の方の参加も歓迎いたします。
- 2 研究会は一一号館三階、一一三二教室、懇親会は蕨友館二階パーティールームで行います。同封の地図を御参照下さい。
- 3 大学周辺にはレストラン等がほとんどありません。両日とも弁当(一個一〇〇〇円)を用意いたします。御希望の有無を同封の葉書にてあわせてお知らせ下さい。なお、七日(土)は大学の食堂も利用できません。
- 4 ホテルは各位お申込み下さい。参考までに会場に比較的近い宿泊施設の名前と電話番号を掲載します。聖蹟桜ヶ丘駅近辺にはホテルはありません。

多摩センター駅近辺  
京王プラザホテル多摩(駅前)

○四三三―七四一〇―一  
サンピア多摩(厚生年金施設、徒歩一五分)○四三三―七六八―五二  
高幡不動駅近辺  
シティホテル高幡(ビジネスホテル、駅前) ○四二五―九一―一二二  
府中駅近辺  
ホテルコンチネンタル(駅前)  
○四二三―三三―七一一

- \* 京王プラザホテル多摩は予約時に「比較家族史学会」の会員である旨告げると、六月六日、七日はシングル料金一泊(朝食、税金、サーヴィス料込み)が一〇〇〇円になります(通常は一四四三七円です)。シングルを三〇室確保してあります。
- 5 大会に関するお問い合わせは左記までお願いいたします。
- 帝京大学文学部  
奥山 恭子研究室  
電話(直通) ○四二六―七八―三五二七

### 交通

\* 帝京大学の住所は八王子市ですが、最寄り駅は八王子駅ではありませんので御注意下さい。

### ◎京王線 聖蹟桜ヶ丘駅から

- 京王バス1番のりば
- ・由木折返場行・南大沢駅行・堀場折返場行・多摩センター行・中央大学行で約一三分、「帝京大学」下車、徒歩約一五分
- 京王バス2番のりば
- ・高幡不動駅行で約一〇分、「帝京大学

北」下車、徒歩約一五分

### ◎京王線 高幡不動駅から

- 京王バス2―1番または2―2番のりば
- ・百草園地行・聖蹟桜ヶ丘駅行で約一〇分、「百草園地」下車、徒歩一五分
- ・聖蹟桜ヶ丘駅行で約一二分、「帝京大学北」下車、徒歩約一五分
- ◎京王相模原線・小田急多摩線 多摩センター駅から
- 京王バス4番のりば
- ・松ヶ谷経由聖蹟桜ヶ丘駅行で約一五分
- 「帝京大学」下車、徒歩約一五分

### 聖蹟桜ヶ丘駅

- ・京王線新宿駅より特急、急行、快速で二五分
- ・南武線分倍河原駅より京王線乗換えで約五分

### 高幡不動駅

- ・京王線新宿駅より特急、急行、快速で二八三分
- ・京王線京王八王子駅より特急、快速で七一分

### 多摩センター駅

- ・京王線新宿駅より特急三一分
- ・小田急線新宿駅より急行・準急で約四五分(直通なし。新百合ヶ丘駅で乗りかえ)
- 東京駅より帝京大学までは約一時間四〇分です。
- タクシー利用の場合は聖蹟桜ヶ丘、高幡不動、多摩センターの各駅から、いずれも所要時間約一〇分です。

M. Takahashi, "The Number of Wills Proved

in the Sixteenth and Seventeenth Centuries. Graphs, with Tables and Commentary", in P. Spufford and G. Martin, eds., The Records of the Nation (Woodbridge, 1990), pp.198-200.

鳴陸奥彦「大丘戸籍にみる朝鮮後期の家族構造の変化」『朝鮮学報』一四四、一九九二 以上

### 運営委員会からのお知らせ

- 1 研究大会・懇親会の出欠については、同封の葉書にて五月一日(木)までにお知らせ下さい。参加費等は当日受付にてお支払い下さい。会員以外の方の参加も歓迎いたします。
- 2 研究大会は一一号館三階、一一三二教室、懇親会は蕨友館二階パーティールームで行います。同封の地図を御参照下さい。
- 3 大学周辺にはレストラン等がほとんどありません。両日とも弁当(一個一〇〇〇円)を用意いたします。御希望の有無を同封の葉書にてあわせてお知らせ下さい。なお、七日(土)は大学の食堂も利用できません。
- 4 ホテルは各位お申込み下さい。参考までに会場に比較的近い宿泊施設の名前と電話番号を掲載します。聖蹟桜ヶ丘駅近辺にはホテルはありません。

多摩センター駅近辺  
京王プラザホテル多摩(駅前)

〇四三三―七四一〇二一

サンピア多摩(厚生年金施設、徒歩一五分) 〇四三三―七六一八五一

高幡不動駅近辺

シティホテル高幡(ビジネスホテル、駅前) 〇四二五―九一一二二

府中駅近辺

ホテルコンチネンタル(駅前) 〇四二三―三三三―七二一

\* 京王プラザホテル多摩は予約時に「比較家族史学会」の会員である旨告げると、六月六日、七日はシングル料金一泊(朝食、税金、サーヴィス料込み)が一〇〇〇円になります(通常は一四四三七円です)。シングルを三〇室確保してあります。

5 大会に関するお問い合わせは左記までお願いいたします。

帝京大学文学部  
奥山 恭子研究室  
電話(直通) 〇四二六―七七八―三五二七

### 交通

\* 帝京大学の住所は八王子市ですが、最寄り駅は八王子駅ではありませんので御注意下さい。

◎ 京王線 聖蹟桜ヶ丘駅から

○ 京王バス1番のりば

- ・ 由木折返場行・南大沢駅行・堰場折返場行・多摩センター行・中央大学行で約一三分、「帝京大学」下車、徒歩約一五分
- 京王バス2番のりば
- ・ 高幡不動駅行で約一〇分、「帝京大学

北」下車、徒歩約一五分

◎ 京王線 高幡不動駅から

○ 京王バス2―1番または2―2番のりば

・ 百草団地行・聖蹟桜ヶ丘駅行で約一〇分、「百草団地」下車、徒歩一五分

・ 聖蹟桜ヶ丘駅行で約一二分、「帝京大学北」下車、徒歩約一五分

◎ 京王相模原線・小田急多摩線 多摩センター駅から

○ 京王バス4番のりば

・ 松ヶ谷経由聖蹟桜ヶ丘駅行で約一五分

「帝京大学」下車、徒歩約一五分

聖蹟桜ヶ丘駅

・ 京王線新宿駅より特急、急行、快速で二五分  
・ 南武線分倍河原駅より京王線乗換えて約五分

高幡不動駅

・ 京王線新宿駅より特急、急行、快速で二八三分

・ 京王線京王八王子駅より特急、快速で七一分

多摩センター駅

・ 京王線新宿駅より特急三一分  
・ 小田急線新宿駅より急行・準急で約四五分(直通なし。新百合ヶ丘駅で乗りかえ)

東京駅より帝京大学までは約一時間四〇分です。タクシー利用の場合は聖蹟桜ヶ丘、高幡不動、多摩センターの各駅から、いずれも所要時間約一〇分です。

## 事務局からの連絡

## 1 会費納入のお願い

一九九七年度会費の納入をお願いいたします。同封の振込用紙をご利用ください。封筒の住所ラベル右下の数字が納入済み年度を示しています。年会費は三千円です。なおラベルに記載された数字は、四月一五日現在のものです。

## 2 シリーズ比較家族購入について

早稲田大学出版部より、昨年末利谷信義・鎌田浩・平松紘編『戸籍と身分登録』（定価三八〇〇円）、本年三月田端泰子・上野千鶴子・服藤早苗編『ジェンダーと女性』（定価三四〇〇円）が相ついで刊行されました。比較家族史学会の会員は、二割引きで購入できますので、購入を希望される方は会員であることを明記の上、直接早稲田大学出版部へ申し込んでください。

早稲田大学出版部

〒一六九 東京都新宿区戸塚町一〇〇三

☎〇三―三二〇三―一五五一

## 3 『比較家族史研究』第二二号の原稿募集

『比較家族史研究』第一一号は、まもなく会員のお手元に届く予定です。

来年刊行の次号（第二二号）の原稿を募集します。掲載を希望される方は、その旨編集委員長の吉野晃先生までご連絡をお願いいたします。なお、原稿の締切は八月三十一日とさせていただきます。

できます。

吉野 晃

〒一八四 東京都小金井市貫井北町四一―一

東京学芸大学教育学部地域研究学科吉野研究室

☎〇四―二三―二九―七三三二

## 4 本年秋の研究大会について

日時と場所が決定しましたので、お知らせします。参加希望の方は、あらかじめ日程の調整をお願いいたします。また、宿泊の斡旋はしませんので、各自でお探しくださいますようお願い申し上げます。

日時 十一月五日（土）・一六日（日）

場所 名城大学（名古屋市中）

会場校責任者 本城武雄

テーマ 未定

理事会 十一月一四日（金）夕刻より

## 5 住所・所属等の変更について

住所・所属等の変更がございましたら、左記宛ご連絡ください。また入会希望等の書類につきましても、同様に左記宛ご送付をお願いいたします。

牧田 勲

## 理事会議事録

日時 一九九六年一〇月一八日

場所 ヘルシーパル別府会議室

## 1 新入会員・退会者の承認・報告（別項参照）

## 2 『比較家族史研究』の刊行進捗状況

現在査読をおこなっていただいている。掲載希望論文の数が多く、論文枚数の厳守が必要。次号募集・編集時に再度徹底する。なお、論文の枚数制限を緩め、『比較家族史研究』を二年二回刊行する案、ハード・カバーでの刊行という提案もあったが、経費や継続的に論文掲載希望者があるのか等の問題があり、継続審議とする。

## 3 『シリーズ比較家族』の刊行進捗状況

「女性史・女性学」は二月か一月に刊行予定（『ジェンダーと女性』として本年刊行された）。「家と戸籍」はまとめ部分の原稿のみ（『戸籍と身分登録』として昨年刊行された）。「死者祭祀」は、論文一編がそろわず。「家族のオートノミー」は、原稿が集まったので編集中。

## 4 次回の研究大会について

帝京大学で開催する（詳細は、この公報に記載）。

5 学術会議関連報告

6 国際交流について

7 その他

署名活動の報告

- ・企画委員長の有地亨先生が事情により委員長を辞退されたため、鎌田浩先生が企画委員長に選出された。また田中真砂子先生が企画委員を兼任することとなった。

謝 荔

新潟大学 比較歴史社会学

お茶の水女子大学大学院 比較文化学  
坂田 博美

都立大学  
村上 忠喜

東京

新入会員

菊池 真弓

日

大阪市立大学 中世イタリア史  
ジョルジョ・ベレッタ

小池 誠

本大学大学院 家族社会学  
松園万亀雄

大阪市立大学大学院 社会学

桃山学院大学  
金津日出美

東京都立大学 社会人類学  
宮原 暁

退会者

東

林 葉子

塩谷千恵子

京都市立大学大学院 社会人類学  
山辺 規子

奈良

住所・所属等変更

胡沢 能生

女子大学 ヨーロッパ中世史  
寺崎 弘昭

東

(住所変更・一部所属変更等を含む)  
高橋 由紀

奥田 都子

京大 西洋教育史  
佐藤 康行

田淵 六郎

京都市文化財保護課

○ 国際家族法学会第九回世界会議

会期 一九九七年七月二七日～三十一日

場所 南アフリカ・ダーバン

テーマ 「変わりゆく家族の諸相―世界とアフリカの抱える諸問題」

リカの抱える諸問題」

この会議は、政治的・経済的・社会的変化に伴う家族構造の変化を探究し、これらに対する法的・政策的対応を探るものである。

プログラム(暫定案)

第一日 A 開会スピーチ

B 基調講演

C 家族構造に及ぼす社会変化の影響

1 歴史的遺産 2 経済的・社会的・政策的影響 3 イデオロギー的影響

4 政治的混乱と家族 5 流動する家族の形態

第二日 D 社会変化と家族法との関係

1 メインテーマ 2 社会的多元性とマルチ・カルチャリズム 3 養子と子どもの福祉 4 国別報告 5 婚姻外関係 6 法と宗教 7 家族の変貌に対する法的対応

第三日 E 憲法と家族・家族法

1 メインテーマ 2 国別報告

F 結論

会議用語 英語・フランス語

参加登録期限 五月三十一日

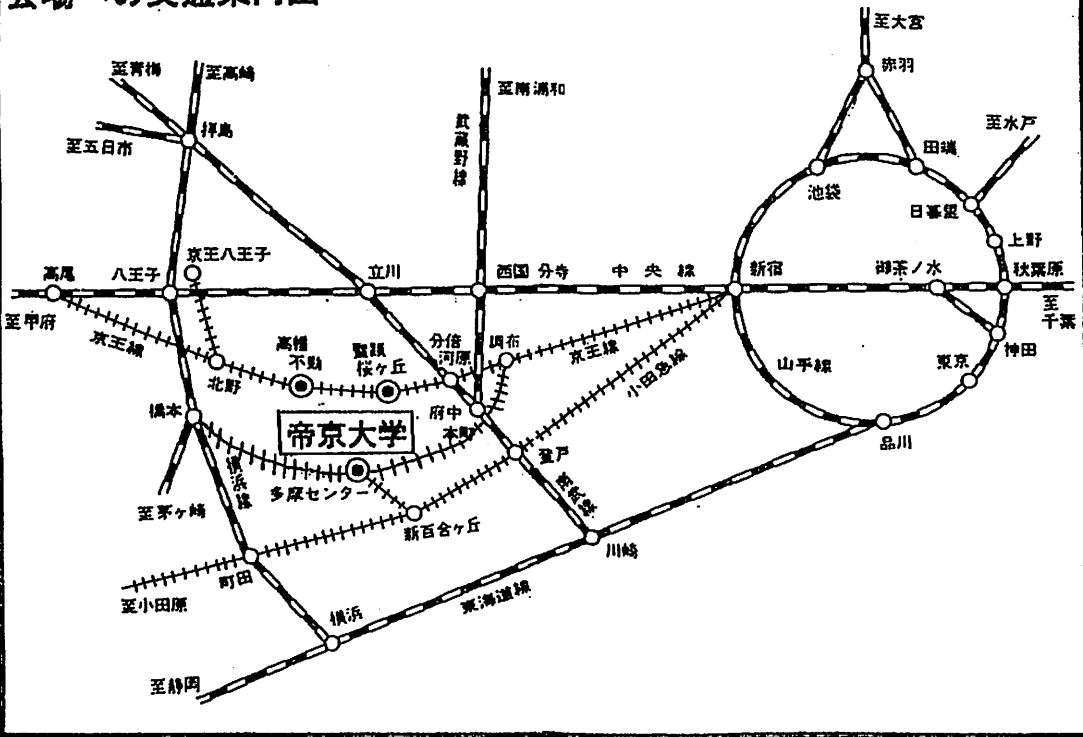
参加登録料 会員一〇〇〇ランド(約二五〇〇円)、非会員一五〇〇ランド

問合わせ先

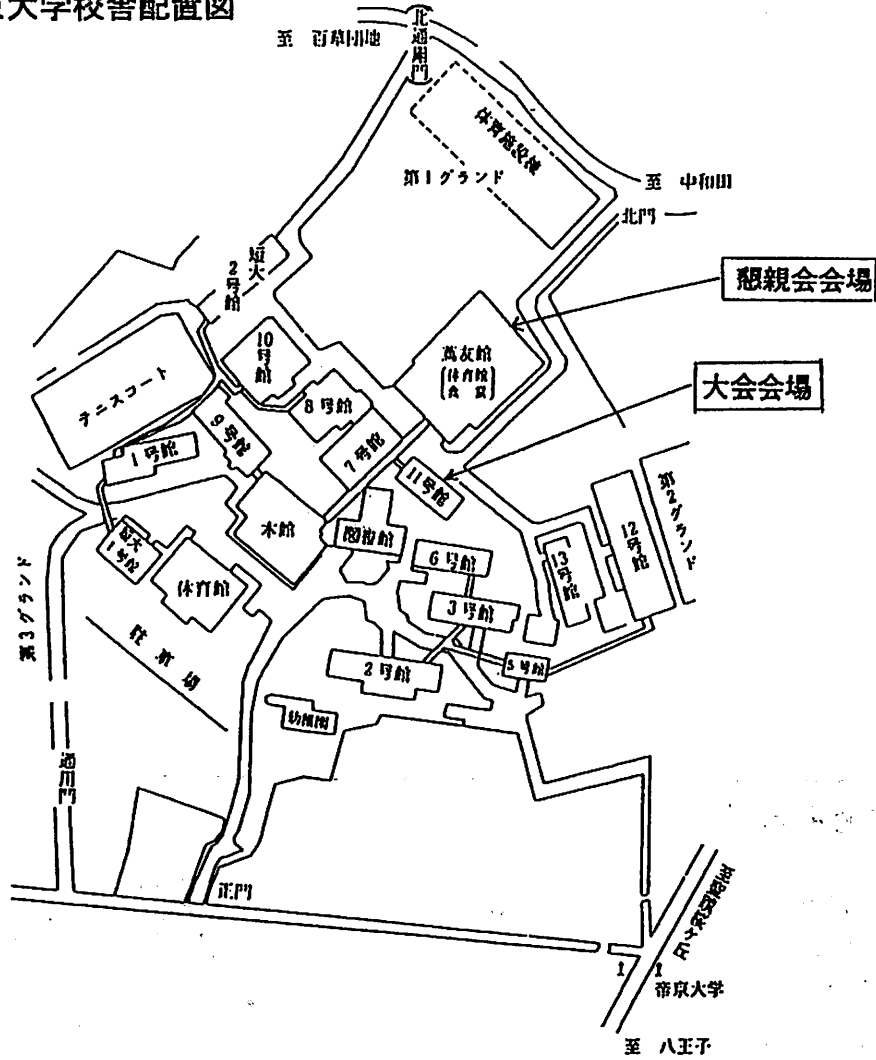
獨協大学法学部松嶋研究室内・国際家族法学会連絡委員会(☎〇四八九一四二一一一一) 松嶋 宛

(約三七五〇〇円)

会場への交通案内図



### 帝京大学校舎配置図



### 会場案内図

